

宮の沢ミライ☆ラボ ニュースレター

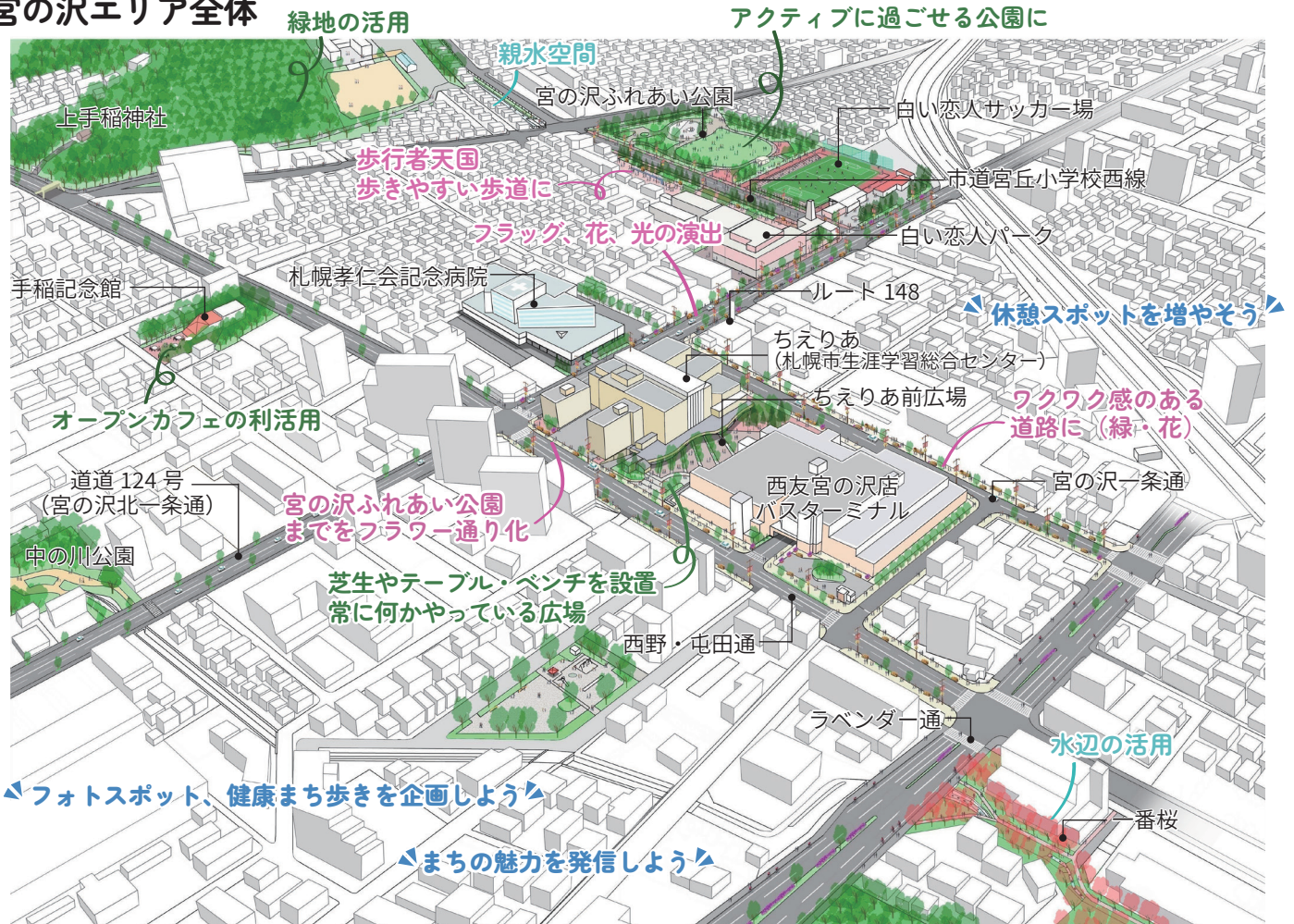
vol.02
2024.03

みなさんのご意見を踏まえて「宮の沢未来ビジョン」が完成しました！！

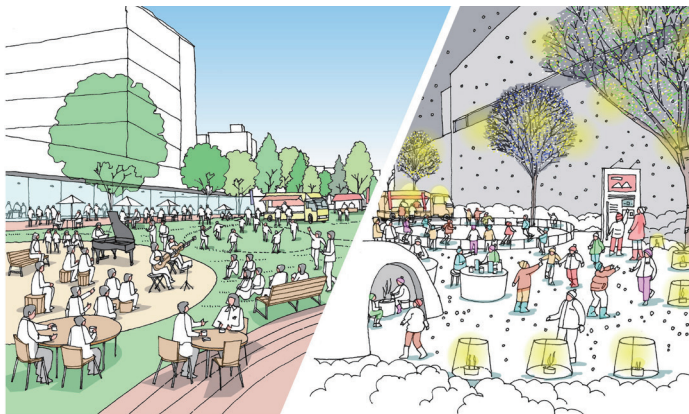
ワークショップ、フィールドワーク、my groove で寄せられた意見を踏まえて完成した“居心地がよく歩きたくなる”宮の沢未来ビジョンをご紹介します！

『宮の沢未来ビジョン』は宮の沢エリア全体ほかに、これまでの議論で「もっと活用したい場所」として意見が多く出ていた『ちえりあ前広場』と『宮の沢ふれあい公園』の3つを作成しました。

宮の沢エリア全体



ちえりあ前広場イメージスケッチ



夏の様子

- ・芝生広場の整備や子どもが遊ぶスペースの確保
- ・音楽イベントやオープンカフェの開催 など

冬の様子

- ・スノーキャンドルの設置
- ・イルミネーションの復活
- ・雪像づくりや冬のマルシェの開催 など

宮の沢ふれあい公園イメージスケッチ



夏の様子

- ・山を見ながらチルアウト
- ・スポーツを楽しむ公園
- ・キッチンカー＆マルシェの開催 など

冬の様子

- ・雪合戦、雪上サッカー、雪中宝探し
- ・子ども達が楽しめる雪や氷のイベント開催 など

宮の沢未来ビジョン完成までの道のり 冬のフィールドワークの結果を紹介します

2024 (令和 6) 年
2 月 10 日 (土) 実施

宮の沢の魅力を体験し、参加者みんなで「居心地がよく歩きたくなる宮の沢」を考える冬のフィールドワークを開催しました！

当日は、下記の場所を実際に歩き、冬の魅力や課題を考えました。



確認した場所	確認内容と最も多かった意見 ※【 】内は、意見数の割合	
ちえりあ前広場	冬の広場に必要な仕掛け ・キャンドルや光の演出 【52.6%】	冬に広場を活用しにくい課題 ・「活用できる」という情報発信 【42.9%】
道道 124 号線 (宮の沢北一条通)	冬に歩きやすくするために必要な取組 ・休憩スポット (ベンチ、屋内の休憩所) 【37.5%】	冬に歩きたくなる動機付けで足りないこと ・歩いて楽しい魅力の発信 【43.8%】
白い恋人パーク	もっと気軽に訪れたくなるために必要な取組 ・パーク外の空間と一体となったイベント (周辺の施設とも連携した取組) 【36.4%】	
市道宮丘小学校通 西線	冬に歩きやすくするために必要な取組 ・休憩スポット (ベンチ、屋内の休憩所) 【60%】	冬に歩きたくなる動機付けで足りないこと ・歩行者天国化 【42.9%】
宮の沢ふれあい公園 ※当時はスノーライト in 宮の沢 (空間活用実証実験) 開催中	冬の公園に必要な仕掛け ・雪や氷を使ったイベント 【30.8%】	冬に公園を活用しにくい課題 ・イベント使用の条件緩和 【35.7%】
冬の宮の沢について	もっと歩きたくなる宮の沢にするために必要なこと ・目的地までの案内・誘導サイン 【35.7%】	

宮の沢未来ビジョン完成までの道のり 第 2 回ワークショップの結果を紹介します

2024 (令和 6) 年
2 月 24 日 (土) 実施

今年度最後となるワークショップでは、未来ビジョンを実現するために必要な体制や仕組みについて参加者の皆さんと議論しました。

当日いただいた意見も踏まえて、『宮の沢未来ビジョン』完成に至りました。



主な意見

- ・町内会、地域の企業、団体やボランティアなどが協力して、体制づくりをしながら小さなイベントを重ねてみる。
- ・広場、公園などの公共空間やオープンスペースで実験的な取組を行なっていく。
- ・広場、公園を地域のみんなで運営管理できることが理想。
- ・地域の公共空間やオープンスペースを活用する際の「ガイドライン (使用するための手引き)」があるといい。
- ・宮の沢に関わる情報を、いろいろな手法で発信していく。



第 2 回ワークショップのまとめ

ハード に関する 内容

- ・安全な歩行空間の整備
- ・日常的な演出 (緑・花・光など)
- ・要所に休憩スポット

ソフト に関する 内容

- ・周辺施設と連携したコンテンツを展開して、宮の沢全体の回遊性を高める

運営 に関する 内容

- ・地域や企業の相互協力
- ・情報発信

2024 年度以降も「居心地よく歩きたくなる宮の沢」の取組は継続していきますので、
今後もぜひご協力をよろしくお願いいたします！